

会派会長： 中 根 勝 美 ④

政務調査研究視察 報告書

報告者：梅 村 順 一

視 察 日	平成20年2月14日(木)・15日(金)
視 察 先	滋賀県彦根市と米原市・京都市
視 察 内 容	「男女共同参画」、「都市計画マスタープラン」と「図書館運営」
視 察 者	深瀬 稔、梅村順一 計2名

<滋賀県彦根市の男女共同参画事業>

1 彦根市の概要

滋
賀
県
彦
根
市

人口：109,779万人 世帯数：39,395万世帯 面積：98km²、
歳出：329億、財政力指数：0.74、琵琶湖南部に有る鈴鹿山系に囲まれた地域。彦根藩35万石の城下町、歴史的遺産も多数存在。彦根城築城400年際開催。井伊直弼、彦根仏壇、昭和12年市制施行した中核市。

2 推進事業の概要

本市は、滋賀県内で、最初に取り組みを開始。行政と市民とのパートナーシップを柱として、20年間の実績。住民の意識改革の為には、コンサルタントによる事業推進でなく、職員による現実的な対応を進めた。具体策として、副市長をトップとした100名の体制の推進本部を設置し会議を開催。職員の意識の向上のため庁内で職場マニュアルを作成し、2000名の参加を得て課題を抽出し、きめ細かな事業を推進。女性人材育成バンクへの登録を進め、審議会の女性登用を40%目標とし、現状30%弱の達成状況。事業内容も変化し、DV防止やセクハラ防止に関する内容を加味した改定が行なわれている。

3 地域等啓発事業

事業を推進するために地域推進委員を設置し、公募で7名を選出し、事業の啓発を担当。出前講座は年30回程度実施し、男女共同参画推進講座を市内2会場にて開催。啓発パンフレットを作成して出前講座等の資料として活用。また、彦根市条例に基づき、男女共同参画事業に積極的に参加している事業者の表彰を行なっている。

4 男女共同参画センターウィズの役割と運営

子供から女性・男性に関わらず講座を開催。人材育成を積極的に働きかけ年32回の研修講座開催。4つの事業を展開。年1回のセンターまつりを開催。全世帯に広報誌を配布。指定管理制度にて4年間契約で運営し、年間1400万円で委託。



彦根市に到着

彦
根
市

〔感想・岡崎市への反映〕

きめ細やかな事業推進計画と啓発事業の導入や、強い信念を持った事業者による指定管理を導入したセンター運営など、彦根市の積極性が感じられた。このような取り組みにもかかわらず担当者から家庭内への周知が課題であり、市民との協働が大きな事業推進の上での鍵であるとのこと意見をいただいた。岡崎市も図書館のオープンに伴い設置される男女共同参画センターの役割について、事業の目的や推進方法、地域への啓発内容についての再確認が必要だと感じた。